

【九和】

御^み厩^{まや}・長^{なが}谷^{たに}

128 御厩の棚田

御厩（みまや）と読む。江戸時代までは御馬屋村だったらしい。この地が今治藩の馬の牧場であったことから御馬屋と呼ばれていたようだ。

桂、鍋地、与和木よりも先にここが開けたことが宝蔵寺の過去帳から推測される。谷あいには作られた棚田はすばらしい。田植えて水を張った季節は特に美しい。



129 天満神社



御厩の民家が途切れるところに天満神社はある。山側に急な石段があり、そこを上る。祭神は大山積命・大己貴命・菅原道真。深い鎮守の森は、古い大木が多く残っている。

130 長谷発電所跡



愛媛県で2番目にできた水力発電所。明治40年（1907）11月に竣工した。最初の水力発電所は、松山の湯山発電所で明治36年1月竣工している。

長谷発電所跡は、長谷の三島神社内にその水路・水槽の跡が残っている。落合橋の少し上の取水口（P.14参照）から水を引いて水槽でためた水を鉄管で落とし発電していた。出力は180kW、有効落差は約18.5m。本館は木造平屋だった。大正9年（1920）6月に鈍川発電所が出来たことにより役目を終えたようだ。

131 三島神社



長谷の蒼社川の河川敷にあり、本殿はまっすぐに檜原山に向かっている。敷地内には長谷発電所の遺構がある。祭神は、大山積神。神亀5年（728）聖武天皇の勅詔によって勧請した。境内には多くの古木があり、特にルリミノキはたいへんめずらしい。